

南部曲家への冬のお客様たち

御所湖広域公園のある岩手県は古くから全国有数の馬産地であり、「南部曲家」というカギ形の農家がたくさんありました。これは、人と馬とが同じ屋根の下で生活し飼育している馬の様子がよく見えるようにとの愛馬精神から考え出されたようです。公園の「さくら園」の一面にも1棟あり、4月から11月まで公開されています。この曲家は、昭和16年(1941)に盛岡市繫地区に建てられたもので、御所ダム建設に伴い水没予定地となり、昭和49年(1974)にこの場所に移築されたものです。建坪75.8坪(約250㎡)であり、この地域では普通の大きさとのことです。

さて、1月28日、雪降りの寒い中、曲家は、懐かしいお客様と元気な小学生と先生たちを迎えました。近くの盛岡市立繫小学校3・4年生が「社会科学習(昔のくらしとまちづくり)」で、訪ねてくれたのです。家の中を案内してくださったのは、この曲家に59年前18歳の時にお嫁さんにきて暮らしていたという参加児童のおばあちゃん。お孫さんが参加されるため案内を買って出てくれたそうです。住んでいた人でなければわからないようなお話



も聞かせていただき、あっという間に見学の時間が終了してしまいました。子供たちも「何度も遊びに来たことがあるけど、今日は置いてある道具や、部屋の使い方とかが良く分かり楽しかった」と言っていました。また、遊びに来てくださいいね。

